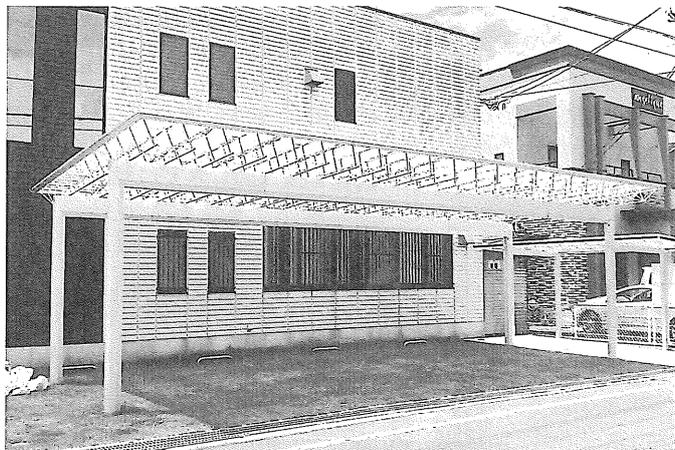


鉄鋼の生産加工や産業廃棄物のリサイクルを手掛ける「こっこー」（広島県呉市、植岡達真社長）が、造園業の「タケダ造園（出雲市下横町、竹田和彦社長）」と共同で、「雨水を利用し、水やりの手間と費用を大幅に削減する省管理型緑化システム「WATER WITH GREEN」を開発、販売を本格化している。

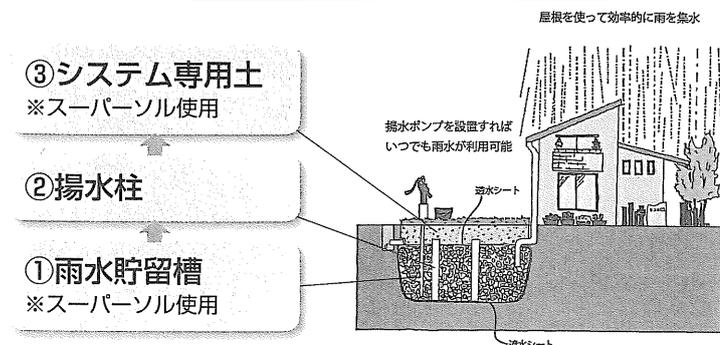
「こっこー」と出雲の造園会社 緑地の水やり費用と手間削減 雨水使った緑化システム開発

省管理型緑化システム「WATER WITH GREEN」。芝生の下に雨水の貯留槽がある



緑化システムは、地中に設置した雨水貯留槽マ揚水柱マシステム専用土の3つで構成する。屋根に降った雨水を、雨どいを通じて、廃ガラスをリサイクルした人工の軽石「スーパーソル」を敷き詰めた貯留槽に貯蔵。貯留槽の上のシステム専用土が

WATER WITH GREENの構造



一般家庭や公共施設の庭など緑地の維持しながら、上に敷いた芝生などの水やりの手間が省ける上、水道代の削減につながる。貯留槽の水は、災害による断水時にトイレなどの生活雑用水としても使え、スーパーソルの高い保水性と、弱アルカリの性質によ

乾燥すると、揚水柱が水を吸い上げ、植物の生育環境を良好な状態に保つ仕組み。タケダ造園は、スーパーソルを活用したシステム全体の着想や販売のコンセプトを手掛けた。

り水が腐敗しにくく、4年間水を保存することができる、という。工事価格は、1平方メートル5万円。30平方メートルまでの規模なら、1日で施工できる。こっこーは、中四国を中心に防

災意識の高い家庭や学校などの公共施設をターゲットに販売を計画。2014年度内は2件の受注を目指しており、山陰両県は松江営業所（松江市東出雲町錦浜）が受け持つ。